



Cisco Jabber for Mac 11.6 ユーザ ガイド

[ユーザ ガイド](#) 2

[新規および変更情報](#) 2

[利用状態](#) 2

[連絡先](#) 5

[チャット](#) 6

[通話](#) 9

[ミーティング](#) 11

[カスタム タブ](#) 15

[アクセシビリティ](#) 16

[トラブルシューティング](#) 20

Revised: May 30, 2016,

ユーザ ガイド

新規および変更情報

変更の詳細	日付	参照先
プレゼンス アイコンとマーク表示アイコンが更新されました。	2016 年 4 月 20 日	マーク表示アイコン , (16 ページ)
アクティブコールとインスタントメッセージのショートカットが更新されました。	2016 年 4 月 20 日	キーボードのショートカット , (16 ページ)

利用状態

での個人用ステータス メッセージの作成

個人用ステータス メッセージを作成してデフォルト メッセージと置き換えると、自分が何をしているのかを連絡先の人に知らせることができます。

手順

-
- ステップ 1** メイン ウィンドウでステータス メッセージ フィールドを選択します。
 - ステップ 2** 表示するメッセージを入力します。
 - ステップ 3** キーボードの Return キーを押します。
Cisco Jabber に、個人用ステータス メッセージが表示されます。
-

ロケーション

ロケーション機能を有効にする

手順

- ステップ1 [Jabber] > [環境設定 (Preferences)] を選択します。
 - ステップ2 [環境設定 (Preferences)] ウィンドウで [ロケーション (Locations)] タブを選択します。
 - ステップ3 [ロケーション機能を有効にする (Enable Locations)] を選択します。
 - ステップ4 (オプション) [新しいロケーションが検出されたら通知する (Tell me when new locations are detected)] を選択します。
クライアントが新しいロケーションを検出すると、アラートが送信されます。
-

ロケーションの追加

自分のロケーションを連絡先側から確認できるようにすることができます。

手順

- ステップ1 [Jabber] > [環境設定 (Preferences)] を選択します。
 - ステップ2 [環境設定 (Preferences)] ウィンドウで [ロケーション (Locations)] タブを選択します。
 - ステップ3 [+] アイコンをクリックします。
[ロケーションの作成 (Create Location)] ウィンドウが開きます。
 - ステップ4 連絡先側から自分のロケーションを確認できるようにするには、[このロケーションを共有する (Share this location)] を選択します。
 - ステップ5 [名前 (Name)] フィールドと [住所 (Address)] フィールドに、ロケーションに関する情報を入力します。
 - ステップ6 [作成 (Create)] を選択します。
-

ロケーションの編集

すでに作成済みのロケーションを編集して、情報を追加することができます。

手順

- ステップ1 [Jabber] > [環境設定 (Preferences)] を選択します。
 - ステップ2 [環境設定 (Preferences)] ウィンドウで [ロケーション (Locations)] タブを選択します。
 - ステップ3 [自分の場所 (My Locations)] ウィンドウで、リストからロケーションを選択してペンまたは編集アイコンを選択し、ロケーションの詳細を編集します。
 - ステップ4 ロケーション情報を更新し、[保存 (Save)] を選択します。
-

ロケーションの削除

自分が設定したロケーションを削除できます。

手順

- ステップ1 [Jabber] > [環境設定 (Preferences)] を選択します。
 - ステップ2 [環境設定 (Preferences)] ウィンドウで [ロケーション (Locations)] タブを選択します。
 - ステップ3 [自分の場所 (My Locations)] ウィンドウで、削除するロケーションを選択します。
 - ステップ4 [-] アイコンをクリックします。
ロケーションがリストから削除されます。
-

ロケーションの再割り当て

現在のネットワーク ロケーションを、すでに作成しているロケーションに再割り当てできます。

手順

- ステップ1 [Jabber] > [環境設定 (Preferences)] を選択します。
 - ステップ2 [環境設定 (Preferences)] ウィンドウで [ロケーション (Locations)] タブを選択します。
 - ステップ3 [自分の場所 (My Locations)] ウィンドウで、リストからロケーションを選択し、[再割り当て (Reassign)] ボタンを選択します。
-

連絡先

Mac Address Book Plug-in の設定

Mac Address Plug-in オプションを設定し、ユーザが Mac アドレスブックから直接 Cisco Jabber を使用してダイヤルできるようにします。

手順

-
- ステップ 1 [Jabber] > [Mac Address Book Plug-inのインストール (Install Mac Address Book Plug-in)] を選択します。
 - ステップ 2 [Jabber] > [環境設定 (Preferences)] > [全般 (General)] > [Macアドレスブックの統合を有効にする (Enable Mac Address Book integration)] を選択し、クライアントを再起動してこの設定を有効にします。
-

ディレクトリ グループを追加する

連絡先一覧にディレクトリ グループを追加できます。

手順

-
- ステップ 1 [Jabber] > [連絡先 (Contacts)] > [新しいディレクトリ グループ (New Directory Group)] の順に選択します。
 - ステップ 2 ディレクトリ グループの名前を入力します。
 - ステップ 3 [OK] を選択します。
-

チャット

グループチャットを開始

手順

ステップ1 [Jabber] > [ファイル (File)] > [新規グループチャット (New Group Chat)] を選択します。


ステップ2 [ユーザ (People)] フィールドに招待する連絡先を入力します。

ステップ3 グループチャットのテーマを入力します。

ステップ4 [招待 (Invite)] を選択します。

ファイルの転送

手順

ステップ1 チャットウィンドウで[ファイル転送 (File Transfer)] アイコン  を選択します。

ステップ2 転送するファイルを選択します。

ステップ3 [送信 (Send)] を選択します。

プライバシーオプションの設定

プライバシーオプションを指定することで、自分のステータスを確認できるユーザや自分へメッセージを送信できるユーザを制御することができます。連絡先をブロックすると、その連絡先のユーザは、こちらのプレゼンスステータスを確認することも、インスタントメッセージをこちらに送信することもできなくなります。

手順

ステップ1 [Jabber] > [環境設定 (Preferences)] > [プライバシー (Privacy)] を選択します。

ステップ2 [ポリシー (Policies)] セクションでプライバシー設定を選択します。

ステップ3 [環境設定 (Preferences)] ウィンドウを閉じて、変更を適用します。

ブロードキャストメッセージの送信

メッセージ（ブロードキャストメッセージ）を一度に連絡先グループ全員に送信できます。受信者は、1:1 チャットの場合と同様にメッセージを受信します。

手順

-
- ステップ 1** 連絡先リストから、ブロードキャストメッセージを送信先とする連絡先をすべて選択します。メッセージをグループ全体に送信する場合は、連絡先グループのヘッダーを選択します。
 - ステップ 2** 選択した連絡先を右クリックして、[プロキヤメ送信（Send Broadcast Message）]を選択します。[プロキヤメ送信（Send broadcast message）]ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 3** テキストボックスにメッセージを入力します。ブロードキャストメッセージにさらに受信者を追加する場合は、[ユーザ（People）]フィールドで連絡先を検索して追加できます。
 - ステップ 4** [送信（Send）]を選択します。
-

チャットルーム

メインウィンドウに[チャットルーム（Chat Rooms）]アイコンがある場合は、チャットルームが有効になっています。チャットルームを使用して、ルームに入室したり、他のチャットルームメンバーとのルームのテーマに関するディスカッションを読むことができます。

チャットルームへの入室

チャットルームに入室すると、共通のチャットウィンドウ内で複数のチャットルームメンバーが情報を共有する会話に参加したり、発言を読んだりすることができます。ユーザがメンバーになっているすべてのルームは[マイルーム（My rooms）]タブに一覧表示されます。管理者がユーザをチャットルームに追加すると、チャットルームが[マイルーム（My rooms）]タブにすぐに表示されます。

手順

-
- ステップ 1** メインウィンドウの[チャットルーム（Chat rooms）]アイコンをクリックし、[すべてのルーム（All Rooms）]タブを選択します。
 - ステップ 2** ルームを参照します。ルームはアルファベット順に表示されます。ルームが特定のメンバーに制限されている場合は、管理者に自身を追加してもらわない限り入室できません。自身がメンバーになっていない制限付きのルームでは、[参加（Join）]ボタンではなくロックアイコンが表示されます。
 - ステップ 3** 入室するルームの横にある[入室（Join）]をクリックします。すでにメンバーになっているルームの横にはチェックマークが表示されます。
-

チャットルームへの参加

チャットルームのメンバーとして追加されたら、常設チャットルームに参加してディスカッション履歴を表示することができます。

手順

- ステップ 1** [チャットルーム (Chat rooms)] タブを選択します。
ユーザがメンバーになっているすべてのルームが一覧表示されます。
 - ステップ 2** 入室するルームをダブルクリックします。
 - ステップ 3** チャット ウィンドウの右側には現在の参加者の一覧が表示されます。
 - ステップ 4** ディスカッションを読み、チャットメッセージを入力します。会話の履歴は常に閲覧することができます。チャットルームから退出してクライアントを閉じても、そのルームの会話に戻ることができます。チャットルームに戻ると、自分がログインしていない間に他のメンバーが送信したメッセージを閲覧できます。チャットルームから [詳細を表示 (Show More)] を選択すると、より古いメッセージが表示されます。
-

チャットルームの検索

チャットルームでキーワードインスタンスを検索できます。ユーザがメンバーになっているルームだけが検索されます。

手順

- ステップ 1** クライアントの [検索またはコール (Search or call)] フィールドに検索語を入力します。
 - ステップ 2** リストから [チャットルームメッセージの検索 (Search chat room messages)] オプションを選択します。
検索結果ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 3** [入る (Enter)] を選択してリストのチャットルームに入室し、詳細検索アイコンを使用して検索を絞り込むことができます。
-

通話

Jabber 間通話の開始

Jabber 間通話を使用して、他の Cisco Jabber クライアントに発信できます。ただし、Jabber 間通話を使用する場合、いくつかの違いがあります。

- Jabber 間通話は、一度に単一の連絡先とだけ行うことができます。
- Jabber 間での通話中に別の連絡先に通話を発信すると、通話中のコールが終了します。
- 連絡先との間でお互い同時に Jabber 間通話を開始すると、自分からの通話は接続されますが、相手からの着信コールは通知されません。

はじめる前に

この機能は管理者が有効にします。

手順

-
- ステップ 1** 連絡先の通話アイコンを選択します。たとえば、連絡先リスト内やチャットウィンドウ内にある通話アイコンです。
 - ステップ 2** メニューから [Jabber通話 (Jabber Call)] を選択します。
-

オーディオ デバイスの変更

手順

-
- ステップ 1** ヘッドセットまたは他のオーディオ デバイスを適切な USB ポートに差し込みます。
 - ステップ 2** [Jabber] > [環境設定 (Preferences)] > [音声/ビデオ (Audio/Video)] を選択します。
 - ステップ 3** ハードウェアが認識されたら、ドロップダウンリストからオーディオ デバイスを選択します。
 - ステップ 4** オーディオ デバイスの音量を調節します。
 - ステップ 5** [環境設定 (Preferences)] ウィンドウを閉じて、変更を適用します。
-

アドホック 電話会議の作成

連絡先を使用してアドホック会議を作成し、通話をマージして電話会議を作成することができます。

手順

ステップ 1 1 人目の連絡先と通話を開始します。

ステップ 2 別の連絡先との 2 番目の通話を開始すると、最初の通話は自動的に保留状態になります。

ステップ 3 [詳細 (More)] > [マージ (Merge)] を選択すると、2 件の通話がマージされ、電話会議になります。

コールの転送

Cisco Jabber からコールを転送することができます。

手順

ステップ 1 [Jabber] > [環境設定 (Preferences)] > [コール (Calls)] を選択します。

ステップ 2 [コール転送 (Call Forward)] を選択します。

ステップ 3 [コールの転送先 (Forward Calls to)] セクションで選択リストから選択するか、新しい番号を追加します。

a) [+] (プラス) ボタンを選択して、選択リストに新しい番号を追加します。

b) 国番号と市外局番を含む電話番号を入力します。

URI ダイアル

Uniform Resource Identifiers (URI) でコールの発信および連絡先の解決を実行するために URI ダイアルを使用できます。

Cisco TelePresence Video Communication Server (VCS) に接続しているユーザは、関連付けられた URI を使用してのみアクセス可能です。

たとえば、Anita Perez という名前のユーザには、aperez@example.com という SIP URI が電話番号に関連付けられます。URI ダイアルでは、ユーザは電話番号より SIP URI で Anita に発信することができます。

Microsoft Outlook からの連絡先のインポート

Microsoft Outlook からインポートする連絡先には SIP URI を含めることができます。Apple OS X Maverick バージョン 10.9 以前のリリースでは、Mac アドレスブックに一部の文字を表示できません。たとえば、aperez@example.com が aperezexamplecom のように表示されます。ただし、これらの URI を使って検索および発信を行うことはできます。

SIP URI の設定

Mac アドレスブックの連絡先用に SIP URI を作成することができます。

はじめる前に

Cisco Jabber for Mac の Address Book Plug-in が設定されていることを確認します。

手順

ステップ 1 Mac アドレスブックのユーザを選択し、[編集 (Edit)] を選択します。

ステップ 2 連絡先カードの電話セクション内で、連絡先の SIP URI を追加します。

ステップ 3 [完了 (Done)] を選択します。

SIP URI による連絡先へのダイヤル

SIP URI を使って連絡先に発信することができます。

手順

ステップ 1 @ 記号とその後に最低 2 文字を含む URI の文字を入力します。たとえば、aperez@ex です。コールのブリックレット (bricklet) に結果が表示されます。

ステップ 2 SIP URI を使用して連絡先に発信するには、ブリックレットの [発信 (Call)] を選択します。

対応中のコールの転送

手順

ステップ 1 詳細メニューアイコンを選択して、[通話の転送 (Transfer Call)] を選択します。

ステップ 2 通話の転送先の相手を見つけます。

ステップ 3 [転送 (Transfer)] アイコンを選択すると、通話が転送されます。

ミーティング

ミーティング アカウントの追加

Cisco WebEx サイトを Cisco Jabber に追加して、オンライン会議の開始、参加、および管理を簡単に行うことができます。

クラウドベースの導入では、SSO に設定されているミーティングサイトを追加することができないため、このサイトを Cisco WebEx 管理ツールで作成する必要があります。

手順

- ステップ 1** [Jabber] > [環境設定 (Preferences)] > [ミーティング (Meetings)] を選択します。
(注) 管理者によってプロビジョニングされたサイトを編集または削除することはできません。
- ステップ 2** [ミーティング サイト (Meeting Site)] ドロップダウンリストを選択します。
- ステップ 3** ドロップダウンリストから [ミーティング サイトの編集... (Edit Meeting Site...)] を選択します。
- ステップ 4** プラス (+) ボタンをクリックして新規ミーティングサイトを追加します。
- ステップ 5** 次のフィールドで必要な設定を入力します。
- [サイト URL (Site URL)]
Cisco WebEx サイトの名前 (例 : cisco.webex.com)
 - [ユーザ名 (Username)]
自分のユーザ名
 - [パスワード (Password)]
自分のパスワード
- ステップ 6** [適用 (Apply)] を選択します。
-

ブリッジ エスカレーション

ブリッジ情報の設定

電話会議に使用する代替番号を指定できます。

手順

- ステップ 1** [Jabber] > [システム設定 (System Preferences)] を選択します。
[設定 (preferences)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 2** [コール (Calls)] タブを選択します。
- ステップ 3** [全般 (General)] タブを選択します。
- ステップ 4** [自分の会議サービスを使う (Use my conference service)] オプションを選択します。
- ステップ 5** 番号、またはブリッジの URI を入力します。
管理者がブリッジパターンを追加している場合、ユーザがこのフィールドを編集することはできません。

ステップ6 (オプション) ホスト PIN を入力します。

ステップ7 (オプション) ゲスト PIN を入力します。

マイブリッジを使用した電話会議の作成

はじめる前に

ブリッジ情報を設定しました。詳細については、「ブリッジ情報の設定」を参照してください。

手順

ステップ1 チャットウィンドウでコールアイコンを選択して電話会議を開始します。

ステップ2 ユーザは自身のブリッジに接続され、電話会議に参加するための招待状が連絡先に送信されます。

パーソナルルームを使用したミーティングの開始

はじめる前に

Cisco WebEx の [今すぐミーティング (Meet Now)] の設定で [すべてのインスタントミーティングに対してパーソナルルームを使用する (Use Personal Room for all my instant meetings)] が選択されていることを確認します。

手順

ステップ1 1つまたは複数の連絡先を選択します。

ステップ2 右クリックして、[今すぐミーティング (Meet Now)] を選択します。
パーソナルルームに接続され、参加者に会議への参加を呼び掛ける招待が送信されます。

コラボレーション会議室へのエスカレーション

Cisco Collaboration Meeting Room (CMR) クラウドを使用して、グループチャットから電話会議を作成するよう選択することができます。

手順

ステップ1 [電話会議にブリッジを使用する (Use my bridge for conference call)] オプションが選択されていないことを確認します。詳細については、「ブリッジ情報の設定」を参照してください。

ステップ2 参加者がいるグループチャットに参加している場合は、通話アイコンを選択します。

ユーザは電話会議に接続され、参加者には、ビデオリンクまたは Cisco WebEx を使用してミーティングに参加するための招待状が送信されます。

ミーティングへの DTMF の追加

Dual Tone Multi Frequency (DTMF) デジットをコピーし、電話会議に貼り付けることができます。

手順

ステップ 1 会議招待状から会議 ID、参加者 ID、または PIN をコピーします。

ステップ 2 通話中は、キーパッドアイコンを選択します。

ステップ 3 情報をキーパッドに直接貼り付けます (Command+V)。

相手先カメラの制御

はじめる前に

この機能は、ユーザが通話しているシステムがサポートしている場合、および管理者がその機能をユーザに対して有効にしている場合のみ使用することができます。

手順

ステップ 1 ビデオ通話を開始したら、[遠端カメラの制御の表示 (Show Far End Camera Control)] アイコンを選択します。

ステップ 2 パン、チルト、およびズームのボタンを使用して通話を制御します。

- デバイスに直接コールしている場合は、コントロールを使用してカメラの左右のパン、上下の傾斜、ズームイン/ズームアウトを実行します。
- ブリッジへのコールでは、コントロールを使用して使用する会議のレイアウトを選択します。

また、次のキーボードショートカットを使用してカメラを手動で制御できます。

オプション	説明
上に傾ける	上矢印キー
下に傾ける	下矢印キー
左にパン	左矢印キー

オプション	説明
右にパン	右矢印キー
拡大	プラス記号
縮小	マイナス記号キー

カスタム タブ

カスタム タブの作成

カスタム タブを作成し、HTML コンテンツをメイン ウィンドウに表示することができます。

手順

ステップ 1 [ファイル (File)]>[新規カスタムタブの作成 (New Custom Tab)]を選択します。
[新規カスタムタブの作成 (Create new custom tab)]ダイアログウィンドウが表示されます。

ステップ 2 カスタム タブの詳細を、次のフィールドに追加します。

- [タブ名 (Tab name)]: カスタム タブの名前を入力します (省略化)。この名前は、カーソルをタブの上に置くと表示されます。
- [ページのURL (Page URL)]: カスタム タブのコンテンツの URL を入力します。

ステップ 3 [作成 (Create)] を選択します。
カスタム タブがメイン ウィンドウに追加されます。

カスタム タブの削除

自分が作成したカスタム タブを削除できます。

手順

ステップ 1 削除するタブを選択します。

ステップ 2 [Jabber]>[ファイル (File)]>[カスタムタブの削除 (Remove Custom Tab)]を選択します。

ステップ 3 [削除 (Remove)] を選択します。

タブが削除されます。

アクセシビリティ

マーク表示アイコン

マーク表示のステータスアイコンは、記号を使用してアベイラビリティを示します。

マーク表示のステータスアイコンを使用するには、[Jabber] > [環境設定 (Preference)] > [ステータス (Status)] > [マーク表示のプレゼンスアイコンを使用 (Use accessible presence icons)] を選択します。

次の表に、標準的なステータスアイコンとマーク表示のステータスアイコンを示します。

標準的なアイコン	マーク表示アイコン	説明
		使用可能
		退席中
		応答不可
		応対不可

キーボードのショートカット

ハブウィンドウでの移動

ハブウィンドウのタブを移動するには、Command とタブの番号を選択します。たとえば、1 番目のタブに移動するには Command と 1 を選択します。

アクション	キーボード操作
コンタクトの追加	Command+D キー
連絡先ビューを展開表示 (展開/折りたたみの切り替え)	Shift+Command+T キー
オフライン連絡先の表示 (表示/非表示の切り替え)	Shift+Command+H キー
メイン Cisco Jabber ウィンドウにフォーカスを移動	Command+/ キー

アクティブコール

アクション	キーボードのショートカット
通話終了	Command+K キー
音声のミュートの ON/OFF を切り替える	Option+Command+↓ キー
音量を上げる	↑キー
音量を下げる	↓キー
保留	会話ウィンドウがアクティブなときにメニューからアクセスするか、Tab キーまたは Shift+Tab キーを押してウィンドウ内のボタンとオブジェクトを移動します。
コールの転送	Option+Command+T キー
コール制御ストリップの自動消去の ON/OFF を切り替える (VoiceOver が有効の場合のみ使用可能)	COMMAND+OPTION+SHIFT+H

着信コール

アクション	キーボードのショートカット
コールに応答する	Command+L キー
拒否、応答	会話ウィンドウにフォーカスが入っているときに Tab キーまたは Shift+Tab キーを押すと、[拒否 (Decline)] ボタンと [応答 (Answer)] ボタンの間を移動できます。
コールに応答し、発信者 ID を表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1 Ctrl+Command+J キーを押して、Cisco Jabber ステータス メニューを開きます。 2 ↓キーを押してメニュー オプション内を移動し、[xxx-xxx-xxxxからの呼び出しに応答 (answer call from xxx-xxx-xxxx)] を選択します。 3 Enter キーを押します。

インスタントメッセージ

アクション	キーボードのショートカット
選択した連絡先とのチャットを開始する	Command+N キー
選択した複数の連絡先とのグループチャットを開始する	Option+Shift+Command+N キー
チャットタブ間の切り替え	Ctrl+Tab キー
チャットを閉じる	Command+W キー
メッセージテキスト入力フィールドを終了する	Shift+Tab
デフォルトフォントを復元する	Option+Shift+Command+T キー
すべてのフォントを表示する	Command+T キー
太字	Command+B キー
斜体	Option+Command+I キー
下線	Command+U キー
拡大する	Command++ (プラス) キー
縮小する	Command+- (マイナス) キー
色を表示する	Shift+Command+C キー

グローバルショートカット

[Cisco Jabber] ウィンドウがバックグラウンドの場合のグローバルキーボードショートカット

アクション	キーボードのショートカット
コールに応答する	Ctrl+Command+L キー
選択したテキストをアプリケーションでダイヤルする	Shift+Command+0 (ゼロ) キーまたは Command+) キー

アクション	キーボードのショートカット
コールに応答し、発信者 ID を表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1 Ctrl+Command+J キーを押して、Cisco Jabber ステータス メニューを開きます。 2 ↓キーを押してメニュー オプション内を移動し、[xxx-xxx-xxxxからの呼び出しに応答 (answer call from xxx-xxx-xxxx)] を選択します。 3 Enter キーを押します。

ボイス メッセージ

アクション	キーボードのショートカット
ボイス メッセージを削除する	DELETE
ボイス メッセージのごみ箱を空にする	Option+Command+Delete キー
ボイス メッセージの再生 (再生/停止の切り替え)	Option+Command+P キー
ボイス メッセージ タブを表示する	Command+4 キー

コール

アクション	キーボードのショートカット
発信	Shift+Command+N
リダイヤル	Command+R キー
連絡先リストで選択した連絡先に発信する	Option+Command+C キー

キーボード ナビゲーション

各タブに移動するには **Command** キーと数字キーを使用します。たとえば、1 番目のタブに移動するには **Command** と **1** キーを使用します。メイン ウィンドウ メニュー内を移動するには、**Tab** キーと矢印キーを使用します。

トラブルシューティング

オーディオおよびビデオ デバイスの設定の確認

オーディオおよびビデオ デバイスに問題がある場合、選択済みのデバイスを確認することができます。

手順

- ステップ 1 [Jabber] > [環境設定 (Preferences)] を選択します。
[一般設定 (General Preferences)] ウィンドウが開きます。
 - ステップ 2 [音声/ビデオ (Audio/Video)] を選択します。
[音声/ビデオ設定 (Audio/Video Preferences)] ウィンドウが開きます。
 - ステップ 3 デバイスの設定を確認します。
-

接続ステータスの確認

機能に問題がある場合は、接続ステータスを確認してみます。たとえば、ボイス メッセージにアクセスできない場合などがあります。

手順

- ステップ 1 [ヘルプ (Help)] > [接続状況の表示 (Show Connection Status)] を選択します。
サーバ接続ステータス ウィンドウが開きます。
 - ステップ 2 リスト内の各サーバについて、表示されているステータスが [接続中 (Connected)] になっていることを確認します。
 - サーバ接続がすべて接続中となっている場合は、[コピー (Copy)] を選択してその情報を取得し、システム管理者に送信します。
 - サーバ接続が接続中以外のステータスの場合は、[アカウントを開く (Open Accounts)] を選択して、アカウントの設定が正しいことを確認します。問題が解決しない場合は、システム管理者に報告してください。
-

問題の報告

Cisco Jabber に問題がある場合は、システム管理者から問題解決の支援を得られるように問題レポートを作成することができます。

Problem Reporting Assistantがレポートプロセスについて手順を示します。生成される問題レポートにはコンピュータのログが含まれます。

手順

-
- ステップ1 [ヘルプ (Help)]> [問題を報告する (Report a Problem)]を選択します。
 - ステップ2 問題に関する情報を入力し、[続行 (Continue)]を選択します。
 - ステップ3 [生成 (Generate)]を選択して、問題レポートを作成します。
 - ステップ4 [Eメール (Email)]を選択して、システム管理者に送信する電子メールを作成します。
-

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメインバージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記供給者は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、あるいは、取り扱い、使用、または取引慣行によって発生するあらゆる保証に関して、明示的、黙示的を問わず責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

シスコおよびシスコのロゴは、米国およびその他の国におけるシスコおよびその関連会社の商標を示します。シスコの商標の一覧については、<http://www.cisco.com/go/trademarks> をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

Google、Google Play、Android、その他の商標は Google Inc. の商標です。

© 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>